



学校だより 9月号

石川小学校 学校教育目標
育てます。「石川魂」

令和2年8月31日
横浜市立石川小学校
校長 寺園 淳

横浜子ども会議と石川小の子どもたちについて

児童支援専任 臼井 宜子

残暑厳しい日々が続きますが、私たち教職員は、この暑さをものとしないうち子どもたちに元気をもらっています。

日頃より、児童の健全育成にご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

休業明け、多くの子どもたちの表情に疲れが見られました。覇気がなく、挨拶の声もあまり聞こえない状況に、元の活気ある元気で且つ清楚で品のある石川小の子どもたちに戻ることができるのだろうか心配するほどでした。しかし、分散登校が終わり、給食も始まる中で、徐々に元気な声が聞こえるようになりました。そして、夏休み明け、昇降口では、以前のように挨拶が交わされ、暑さ真っ盛りの校庭では、ほんの20分の中休みを謳歌し、10時40分のチャイムとともに校舎に一目散に入っていく子どもたちの姿に、以前心配していたことが解消されつつあると安堵しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「南区横浜子ども会議」は、中止されることになりました。だからといって、なにも実施しないということではなく、昨年度の「誰にとっても居心地の良い学校づくり～ネットの世界でも気持ちよく過ごすために～」というテーマに沿って各校で標語作りをし、最終的に南区の標語を決定することとなりました。さらに、その選ばれた標語をもとに誰にとっても居心地の良い学校にしていくために何をしていくことが必要なのかを中学校ブロックにて「ブロック横浜子ども会議」を開いていく予定です。

本校でも、昨年度の南区の代表児童生徒が作ったネットトラブルについてのビデオを見て、1年生から6年生まで全員が標語を考え、全員で投票して代表を決めました。その中から、本校代表の作品を南区児童支援・生徒指導専任協議会に持って行き、南区の標語を決定します。

本校代表作品

【下学年部門】○悪口は 心のはもの やめようね。

○おうちの人とそうだしよう ゲームのやり方

【上学年部門】○その言葉 本当にいいの？ 相手の気持ち考えて

○㊦ぐにだまされない ㊧きこまれない ㊨ご者に相談

○SNS 気を付けよう やっていいことわるいこと 自分で考え行動しよう

○だいじょうぶ？ 世界に伝わる その言葉

今、世界はまだ、コロナ不安のまっただ中にいます。日本も横浜も石川小もまだまだ、安心できる状況にはありません。ただ、子どもたちの表情は明るく、その笑顔が私たちの心も明るくしてくれます。私の大好きな石川小の子どもたちの笑顔が続くよう指導・支援のためのスキルを高め、子どもの気持ちを察する感度をもっとあげていかなければならないと感じています。